



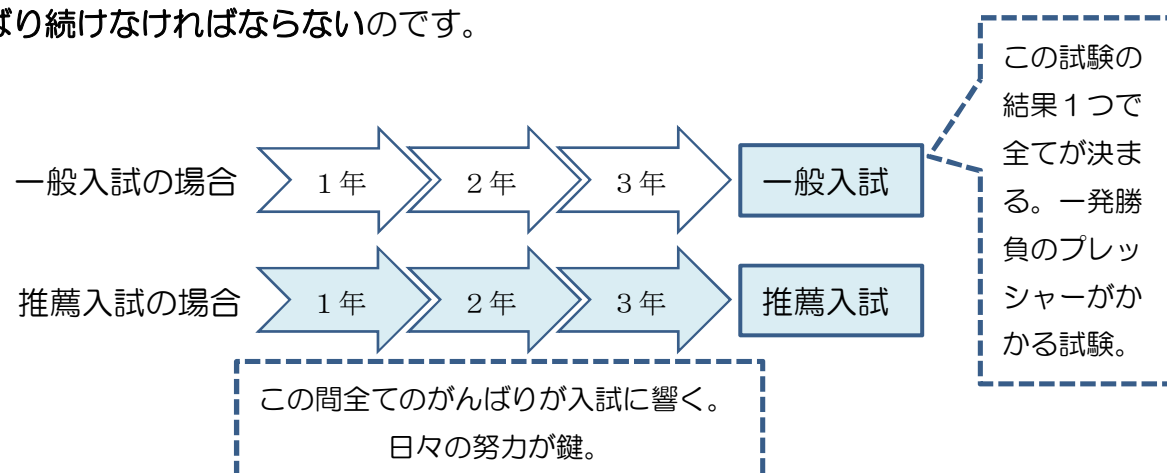
明日への道

進路だより No.2

5月25日発行

「推薦」とは「学科試験がない、簡単」という意味ではありません

例えば4年制大学に進学するとして、一般入試なら、これまで勉強してきたことを、本番の試験にさえ出せばいいのですが、推薦入試の場合、そうはいきません。一般入試を「成果型」とするなら、推薦入試は「期待型」です。高校側は「この生徒なら〇〇大学に自信をもって推薦できる。〇〇大学でがんばってくれるだろう」という「期待」を込めて推薦します。だから「この生徒は高校でこんなにがんばってきました」という証拠として推薦書、調査書（高校での成績、出席状況、資格、部活動、ボランティア等）を送るのです。一方大学側は、「高校でこんなにがんばっているから、大学でも大丈夫だろう」と「期待」して合格とします。したがって、推薦されるためには高校3年間が**んぱり**続けなければならないのです。



さて、皆さんは自分が推薦に値する人物だと思いますか？高校生活をどのように過ごしたか、どこに出しても恥ずかしくないですか？海陽高校で進路を決めるとき、ほとんどが「推薦」です。それは就職も同じです。つまり「進路のことは3年生になってから～」と置いては遅いのです。

推薦で重視されるポイントは「評定平均値」と「欠席数」です。皆さんが今からしなければならぬことは、1、評定を上げること。そのためには①テストでできるだけ高得点を取る。②課題を期日までに出す。2、欠席しないこと。そのためには①体調管理。②休むぐらいなら、午前中だけ出て早退、遅刻して午後だけでも授業を受ける。

高総体が終わったらすぐに第1回定期考査があります。しっかり勉強しましょう！

企業訪問に行ってきました

県外での五島の評判は非常に高く、「島の子は素直だから、ぜひまた求人を出したい」と言ってくれる企業が多くありました。海陽の先輩方がまじめに働いてくれているおかげで、その子だけでなく海陽高校を信頼してくださっているようでした。本当にありがたいことです。

一方で先輩方が離職してしまった企業もあります。「先生方は学校でもっと厳しく指導すべきです！生徒には我慢することを教えてください！うちの会社だけが厳しいのではなく、社会とは厳しいところなんです！その厳しさに耐えられるような生徒を育ててください！」。これはある大手企業の方の言葉です。会社を辞めた人は「仕事がきつかった」「人間関係が…」などと言いますが、それはどの会社でも同じです。次の会社に行けばその悩みは解消すると思うかもしれませんが、きっと同じ言い訳の繰り返しになるでしょう。

島外に就職するなら、もう絶対に五島には戻ってこない、という強い気持ちを持ってください。2、3年経ったら五島に戻ってこようと思っている人は、初めから島内に就職しませんか？島内就職には多くの利点があります。

島内就職ってこんなにステキ♡

- ・住み慣れた土地。
- ・豊かな自然。新鮮な食材。
- ・優しい人々。
- ・実家住まいなら家賃はタダ。
- ・今までと生活は変わらず。3食つき。
- ・仕事できついことがあっても家族に愚痴を聞いてもらえる。
- ・立派に働いている姿を、今まで育ててくださった五島の方々に見てもらえる。そして褒めてもらえる。
- ・五島への恩返しができる。
- ・五島の未来を作れる。

※はやく自立したいなら…

- ・実家に家賃や食費を払ってみよう → 親孝行だね！
- ・アパートを探して1人暮らしも可能だよ。



進路のことで気になることがある、悩みがある、そんな人はぜひ気軽に進路室に相談に来てくださいね。

今月のキャリア短歌

動きだせ 見ているだけじゃ 始まらない 踏み出す一歩 スタートライン

